

令和 8 (2026) 年度 前期一般選抜 (A1)

生 物 解 答 用 紙

受験 番号		評 点	
----------	--	--------	--

[ 1 ]

① ウ	② イ	③ ア	④ タ	⑤ セ	⑥ ケ	⑦ オ	⑧ ク
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

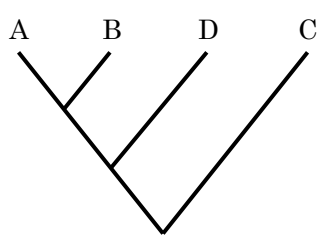
[ 2 ]

(1) ヌクレオチド	(2) イエ	(3) エ	(4) ア
(5) 水素結合			

[ 3 ]

(1) わい性品種にジベレリン処理を行い、茎が正常に伸びたら合成能力の違いが原因であり、茎が伸びなかったら感受性の違いが原因と判断できる。			
(2) エ	(3) イ	(4) イ	

[ 4 ]

(1) 	(2) 400 万年	(3) 1 億 2000 万年前
(4) <ul style="list-style-type: none"> <li>・形態では比較できないような遠く離れた分類群間の系統関係を推定することができる。</li> <li>・大量の形質情報を比較的簡単に得ることができる。</li> <li>・客観的に形質の状態を判断できる。</li> </ul>		

※解答欄は裏面に続きます。

[5]

①

ワクチンは弱毒化した抗原のことで、ヒトにワクチンを注射して抗体を自ら生産することで病気に対する抵抗性をつける療法である。また、血清にはワクチンではなく抗体が含まれている。

②

花粉症のアレルゲンは花粉の成分である。ヒスタミンは過剰に放出されるとアレルギー症状を引き起こすが、ヒスタミンの放出は花粉に対する免疫反応である。